

学校だより



北中魂

素朴・剛健・辛抱強い

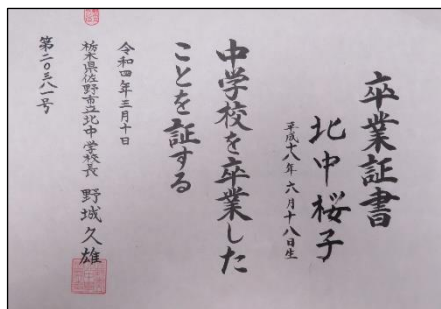
令和3年度 第14号

令和4年 3月10日発行

発行者：佐野市立北中学校長

野城 久雄

令和3年度 第74回 卒業式 挙行 ～北中を支えた3年生へ～



9か年の義務教育を終え、新たな門出に立つ173名の卒業生の皆さん、これまで支えていただいた保護者の皆様、御卒業誠におめでとうございます。皆さんが希望に胸を膨らませ、北中学校に入学したのは、令和の時代が始まる直前、平成31年4月のことでした。以来、北中魂「素朴、剛健、辛抱強い」を胸に、様々な体験を通して、たくましく立派に成長しました。

卒業生が20,381人となりました

さて、卒業生の皆さんは、この1年間、最上級生としての自覚をもって常に行動で示してくれました。返事、挨拶、話を聞く態度など、基本的な生活習慣はもちろんのこと、日々の清掃の時間をはじめ、行事の準備などでは、本当に一所懸命、活動していました。

また、部活動での活躍もめざましく、運動部活動では、春季大会・総合体育大会においてたくさんの部が県大会に出場するとともに、文化・芸術面でも、各種コンクールなどにおいて、立派な成績を収めることができました。さらに、今年度の北星祭、合唱コンクールでは、さすが3年生と感じさせる心のこもった美しいハーモニーを奏でていました。

振り返ってみると、中学校3年間のうちの2年間は、新型コロナウイルス感染防止のため、様々な場面で行動制限がありました。楽しみにしていた行事や部活動などが実施できず、悔しい思いをたくさんしました。しかし、コロナ禍であったからこそ、これまでと違うよさや大切なことに気付かされたこともあったのではないのでしょうか。この経験が、今後の人生に活かされることを願っています。

卒業生の皆さんの門出に当たり、はなむけの言葉を3つ贈ります。

1つめは、「**自分を信じる**」という言葉です。これから皆さんが進む道には、乗り越えなければならない、いくつもの壁が待ち構えていると思います。その壁を前にして、自分には無理と、簡単にあきらめてしまえば、とても乗り越えられません。自分を信じ、自分ならできると前向きに考え、あきらめずに自分のもてる力を全部出して、立ち向かっていってください。

2つ目は、「**自分で考える**」ということです。今の高度情報化社会では、様々な情報があふれています。そこで大切なことは、間違った情報や曖昧な情報に振り回されないことです。そのためには、様々な情報を把握し、比較検討して、自分なりの考えをもつことが必要です。周りの意見に流されることなく、自分で考え、判断してください。

3つ目は、「**自分で表現する**」ということです。情報通信技術の進歩に加え、感染症の影響もあり、対面でのやり取りが少なくなる傾向が続いています。それに伴って人間関係が希薄にならないか心配です。そうならないためにも、人と人とのコミュニケーションを大切にしたいものです。まずは、明るいあいさつから始め、自分の思いを表現し、そして周りの人の思いを理解し、互いに支え合える人間関係を築いていってください。

以上、「**自分を信じ**」「**自分で考え**」「**自分を表現する**」この3つのことを意識しながら、新たな生活に臨んでいってください。



～ 3年間の思い出 ～



1年 6月 校外学習(東京)



1年 9月 運動会



1年 12月 弁当の日



2年 9月 スポーツレクリエーション



2年 10月 北星祭(合唱コンクール)



2年 11月 校外学習(益子・茂木)



3年 5月 運動会



3年 7月 修学旅行(京都・奈良)



3年 10月 三義・唐沢縦走



3年 12月 ビブリオバトル

こちらの学校だよりの写真を北中学校Webサイト(ホームページ)にてカラーで御覧になれます。